

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	探訪～四季を味わう上五島推進事業（上五島観光物産キャンペーン展開事業）			
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	新上五島町	観光商工課	村山 祥子	0959-42-3853
事業期間	開始年	平成19年4月19日（8年目）		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[実行委員会]			
実施期間	（開始日）平成27年 4月 1日 （完了日）平成28年 3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先（TEL）
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）	
	島外者（福岡都市圏や九州各県及び熊本県南阿蘇村）		新上五島町の特産品である、五島手延うどんを初め、かんころ餅、椿油、鮮魚、水産加工物などを集客が多く望める施設で物産展を開催し、市場開拓及び販路拡大を図った。また、長崎の教会群世界遺産に絡み、長崎県及び五島列島への観光誘致に向けたPRを併せて実施。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>（1）福岡県朝倉市三連水車の里あさくら（上五島観光物産キャンペーン）</p> <p>①開催日：平成27年9月19日～23日</p> <p>②内 容：今年度、新たな取り組みとして「道の駅」での観光物産キャンペーンを展開した。年間来場者約55万人。地元民、観光バスの休憩所にもなっており、大都市からの日帰り客層等を視野に入れ、シルバーウィーク期間中に実施した。</p> <p>（2）熊本県南阿蘇村（あそのみなみのあきまつり）</p> <p>①開催日：平成27年10月18日</p> <p>②内 容：イベントが開催された南阿蘇村は姉妹町村であり、例年参加し交流が行われている。会場である「あそ望の郷くぎの」ではレストランや物産館も運営され、この物産館では、町物産協会から発送した「うどん」や「塩」、「海産物」などが販売されている。</p> <p>イベント会場としては、景観もすばらしく、利便性の高い交通アクセス（車）、当日は、晴天にも恵まれ、多くの地元客を初め、熊本市内から多くの来場者があった。</p>			

事業実績シート

	<p>(3) 福岡市博多阪急（上五島観光物産キャンペーン）</p> <p>①開催日：平成28年1月22日～25日</p> <p>②内容：博多阪急百貨店（地下食品売場）において、観光PR・物産販売、並行して上五島（島）の食材を使った「コトコトキッチン」（料理セミナー）を展開した。</p>
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	<p>(事業開始の背景)</p> <p>九州の玄関口であるJR博多駅と姉妹町村である熊本県南阿蘇村で、観光物産キャンペーンを実施し、新上五島町の観光・物産の振興を図る。</p>
	<p>(経緯・現状)</p> <p>例年実施していたJR博多駅イベントスペースでの観光物産キャンペーン事業でしたが、今年度より物産販売に制限がかかり従来の開催が難しくなったことから、新たに、「道の駅」「百貨店」での事業展開を図った。</p>

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）				1, 241, 000				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			620, 500				
	一般財源			620, 500				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	物産キャンペーン実施回数	新上五島町の特産品の販売・観光PRを実施し、販路拡大を図る		目標			3
					実績			3
					目標達成率（％）			100
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+） 私益（-） 公益（+） 選択（-）
	（公益性） <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 	（影響内容、程度等） 新上五島町の観光・物産の振興及び情報発信する機会がなくなると同時に、業者間の販売意欲、販路拡大の減退につながる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		チラシ、FM告知等、事前のキャンペーン啓発活動を実施。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日		「食」を通じて「しま」の魅力を発信できるよう、新たな販路拡大と特産品の開発を推進していく必要がある。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		事業運営全般については、町補助金で実施している。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		事業展開する上で、出展者の旅費を含む経費については、事業者が負担しているため。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	新上五島町の特産品の更なる販路拡大と認知度の向上のため、今後も継続して情報発信を図る。また、多くの業者の参加できるよう支援していくことで、島の地場産業の活性化につなげていきたい。				